

ぐらぐら迷路ゲーム

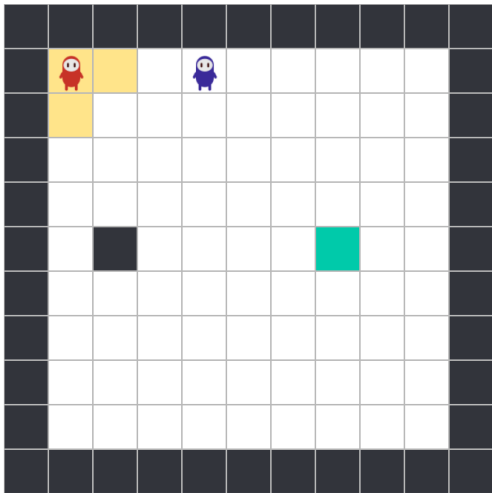
実験

概要







この実験では自由エネルギー原理（以下、FEP）を応用し、プレイヤーはFEPに従って行動するCPUと後述するぐらぐら迷路ゲームで対戦してもらいます。

ぐらぐら迷路ゲーム

Step: 5



マスの説明

-  Playerが存在するマスです。
-  CPUが存在するマスです。
-  プレイヤーが移動可能なマスが表示されます。
-  通常のマスですが、一定確率で落下するぐらぐらマスの可能性もあります。
-  落下マスです。このマスには移動できません。
-  ゴールマスです。このマスに先に到達した方が勝ちです。

ぐらぐら迷路ゲームとは

- ① 同じ場所からスタートしたプレイヤーとCPUが交互に移動し、先にゴールへ到達した方が勝ちとなるシンプルなゲームです。
- ② ただし、一部の床は一定の確率で落下するぐらぐらマスになっており、落下するとスタート地点からやり直しになります。
- ③ そのため、相手が移動したマスでも安全であるとは限りません。
- ④ 相手を先行させて道を切り開かせるもよし、積極的にゴールを目指してもよし、駆け引きが重要です。

実験内容

このぐらぐら迷路ゲームを用いて、皆さんにはプレイヤーとしてCPUと対戦してもらいます。お手持ちの端末から下記リンクにアクセスして是非プレイしてみてください！

ここからプレイ：

<http://maze.fep-demo.work/>

